

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	高砂市立高砂児童学園		
○保護者評価実施期間	令和7年11月10日	～	令和7年12月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	令和7年11月10日	～	令和7年12月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○訪問先施設評価実施期間	令和7年11月10日	～	令和8年1月5日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童学園で児童発達支援を利用していた方が、就園・就学されるタイミングで保育所等訪問支援を利用される方がほとんどなので、幼少期の頃のこどもの様子を理解した上での支援を考えることができていると思います。	児童学園を卒園された方が保育所等訪問支援を利用している場合は、幼少期の園での様子やこどもの特性を担任などからも聞き取るなどして、どのような支援体制が有効なのかを職員で話し合うようにしています。	これからも関係機関との連携を密にしながら支援体制を整えていきます。 保護者とのつながり役を担い、スムーズな移行となるよう支援していきます。
2	児童学園が公立園の為、普段から行政や学校関係、園関係などとの連携体制をとることができており、就園先・就学先との連携がとりやすく、また必要に応じて関係機関との連携もスムーズに行うことができる。	保育所等訪問支援を利用している児童に限らず、各学校や園・行政・事業所との連携も普段から行っており、必要に応じて相談できる体制であったり、情報交換などができるようにしている。	引き続き関係機関との連携を密にしながら、支援を必要とすることもたち・保護者に寄り添った支援ができるようにしていきます。
3	公認心理師も在籍しているので、保護者のフォローも専門的な立場から行うことができていると思います。	保護者の方からの相談ごとに関しては、公認心理師が丁寧に話を聞きながら必要に応じて助言などを行っています。	保護者からの相談ごとがあった時には、ゆっくり話を聞く機会を設け、保護者に寄り添った支援を行っていき、定期的なアフターフォローも行っていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所等訪問支援に関わる職員が少なく、新たに保育所等訪問支援を利用したいと考えているすべての保護者の要望に応えることが難しい。	保育所等訪問支援を利用したいと考えておられる方に対して、職員体制が整っていない為すぐに受け入れることができない。	児童発達支援センターとして、利用したいと考えておられる方に丁寧にかかわり、要望に応えることができるように人員配置を行う必要がある。また、当園で希望にこたえることができない場合は、保護者の方が安心できる対応策を考えて提示できるようにしていきます。
2	保育所等訪問支援に関わる職員のうち半数が、非常勤職員のため、支援を行う日数調整が難しい。	非常勤職員が担当している為、日程調整が難しいことがあり、訪問先施設との調整に時間がかかる。	職員配置を行い、スムーズな支援へとつながるようにしていきたい。
3	保育所等訪問支援について、説明をして支援に入らせていただくようにしているが、保育所等訪問支援というシステム自体を園・小学校・中学校が知らないことがある。	保育所等訪問支援という支援について、名前からのイメージで『保育所』という理解をされており、小学校・中学校に浸透しにくいように感じているので、保育所等訪問支援という支援システムを、多くの現場に知ってもらう必要がある。	保育所等訪問支援について、保育・教育現場へ行政側からの説明会などを開き、多くの方知ってもらう必要がある。今年の高砂児童学園研修においては、講師の先生を招き保育所等訪問支援の必要性についての講演をしていただくことができ、たくさん関係機関の方に理解していただくことができた。